

報告

「志保田務先生を偲ぶ会」の報告

大城 善盛

(元同志社大学教授 「志保田務先生を偲ぶ会」 実行委員長)

The Report of the Memorial Gathering of Dr. Tsutomu Shihota

By Zensei OSHIRO

(Retired Professor at Doshisha University)

2024 年 10 月 13 日、多くの方の協力を得て、「志保田務先生を偲ぶ会」が桃山学院大学和泉キャンパスにて行われました。

第 1 部 逝去者記念式

第 1 部は「逝去者記念式」として、14 時から 15 時にチャペルにて、以下の式次第で行われました。

- 前奏
- 点鐘
- 招きの言葉
- 聖歌 510 番 (起立)
- 詩篇第 119 篇 1-6 節
- 聖書 (着席)
- 聖歌 482 番 (起立)
- 偲ぶ言葉

呉東根 (国際図書館情報学会会長・啓明大学校 (韓国) 教授)

通訳：孫誌銓 (大手前大学准教授)

- 志保田務博士 略歴
- 奏樂 聖歌 292 番
- 祈り
- 派遣
- 聖歌 453 番
- 後奏
- 挨拶

桃山学院大学学長 (キリスト教センター長代読)

ご遺族代表

- 献花
- 第 2 部案内

Oh 先生の挨拶

Oh 先生からは以下の挨拶を頂きました。

追悼文

今日、私たちは永遠に私たちのそばに居てくださると信じていた志保田先生を天国にお送りします。いつも優しく気を配り、他の方を配慮しながら後ろで支えようと努力する姿が鮮明に浮かびます。今私たちは先生と別れなければならない時間になりました。

学問的にも人間的にもあらゆる面で人生の大先輩である先生は、私と 30 年余り交流しながらもいつも私を友人と呼んでくださり、またそのように接してくださいました。

先生とのご縁のおかげで、私にとって大阪は多くの良い友達がいるいつも行きたい場所になりました。昨年 12 月にお会いした時もいつものように精力的に私をエスコートしてくださいました。ご一緒に幸せで楽しい時間を過ごしましたが、突然の訃報に胸が裂ける思いです。

大阪を訪ねるたびに明るい笑い声で迎えてくださった志保田先生がいつまでもお元気で長生きしてくださると思っておりましたので、大変残念でなりません。先に旅立っていくことに、悔しさと寂しさを禁じ得ません。今、天国ですべての不安と心配をおさめていることをお祈りいたします。

私たちは皆先生をいつまでも覚え恋しく思うでしょう。

在りし日のお姿を偲び、安らかな眠りにつかれますようお祈りいたします。

後学 I-LISS 会長 呉東根 拝

第 2 部 懇話会

第 2 部は「懇話会」として、15 時から 17 時にバルナバ館 1 階にて、以下のように行われました。

- 開会の辞 (原田安啓氏)
- 参加者全員で黙祷
- 日本図書館協会理事長の植松貞夫先生の挨拶
- 日本図書館研究会の事務局長の松井純子先生の挨拶
- 桃山学院大学の名誉教授の谷口昭三先生の挨拶
- 日本図書館研究会理事長の原田隆史氏の弔電の披露
- 桃山学院大学教授の小澤義昭氏の弔電の披露

- 国際図書館情報学会理事会からのメッセージの披露
(他の人たちからのメッセージは棚においてあることの報告)
- 日本図書館研究会からの志保田務先生への名誉終身会員への授与式
- 中村恵信氏の挨拶
- 前川和子氏の挨拶
- 立花明彦氏の挨拶
- 国際図書館情報学会理事長 Oh 教授の挨拶
- 閉会の辞 (原田安啓氏)

第1部、第2部を通して、「あらためて志保田先生のお人柄を感じることができました」「志保田先生のなさってきたことには到底かなわないが、なさってきたことをいくらかでも引き継いでいくことが遺された私たちの役割だと思う」などの感想がありました。

第1部および第2部の参加者として43名、第1部のみの参加者として18名、合計61名の参加を頂きました。

皆様に感謝いたします

孫誌銜、藤間真、常世田良、原田安啓、中村恵信、大城善盛の実行委員により、2024年7月30日のオンライン会議から準備を進め、以後、20回以上のメールでのやり取りや会議を持ちました。

案内に関しては、I-LISS Japan の会員や志保田先生の告別式に参列して下さった方々にメールで伝えました。また、『図書館界』や『図書館雑誌』だけではなく、ARG のメーリングリスト (2024-09-23 発行 1025 号) と、JLA メールマガジン (2024/9/18 発信第 1199 号) に案内を載せました。参加の申し込みは原則として Peatix による申し込みにしましたが、後に、E メールや郵便による案内も行いました。E メールや郵便による案内では前川和子氏にお世話になりました。

また、本来ならチャペルに大きなお金がかかる場所、藤間先生のご尽力により支払わなくてもよくなっています。それによって、いくらかのお金が残ることになりましたが、そのお金は I-LISS Japan に寄付しています。

また、当日は前川和子氏、四方未来氏、山田美雪氏、岡田大輔氏等も手伝ってくださいました。

あらためまして、みなさまに感謝するとともに、志保田先生が安らかな眠りにつかれますようお祈りいたします。